

## ノーマネットはくさんの目標と平成30年度の取り組み

### ★ 3つの柱

- 障害のある人、一人ひとりの望む暮らしを実現するために支援の質を向上させます(支援の充実)。
- 障害のある人の権利擁護に取り組みます(権利擁護)。
- 障害のある人と障害のない人が共に生きる街づくりに努めます(共生の街づくり)。

	重点目標(中・長期的な達成目標)	30年度の取り組み
1	<p>&lt; 仲間できつながら合えるようにしていこう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人や家族のつながり</li> <li>・ 障害のある人や家族の人たちが仲間どうして支え合う場の充実を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまな障害のある人たちが集える場をつくる。</li> <li>・ 一人で悩んでいる障害のある人や家族が仲間とつながっていけるような工夫をする。</li> <li>・ 障害のある人どうし、障害のある人と家族が語り合う機会を増やしていく。</li> </ul>
2	<p>&lt; 安心できる相談支援体制を整えよう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人を支える相談支援体制</li> <li>・ 障害のある人や家族がいつでも相談できる体制作りを目指します。</li> <li>・ 年齢によって提供されるサービスなどが変わることに対応して、支援が途切れることのないようにしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人や家族が地域社会の中で安心して暮らしていけるために、必要な時にいつでも相談できる体制をつくる。</li> <li>・ 障害のある人の相談支援に関わる人たちの連携を深めていく。</li> <li>・ 法律により提供されるサービスなどが変わる際に、障害のある人や家族が困ることのないように支援体制を整える。</li> </ul>
3	<p>&lt; 障害のある人が地域社会の中で安心して暮らせるようにしていこう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人の地域社会での生活支援</li> <li>・ 入所施設や病院にいる障害のある人が地域社会での生活を望んだ時に、それが実現できるように支援します。</li> <li>・ 地域社会の人たちの理解を深め、障害のある人が地域の中で暮らしやすい街づくりを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人が病院や入所施設から出て地域社会の中で暮らしていけるための支援の充実を図る。</li> <li>・ 障害のある人がアパートやマンション、グループホームなどで生活していきやすいように、関係者の理解と協力を深める。</li> <li>・ 障害のある人の自宅やグループホームでの生活支援の質を高める。</li> <li>・ 障害のある人が暮らしやすい街になっているか調べ、必要に応じて提言していく(道路・公共施設・店など)。</li> </ul>
4	<p>&lt; 共に働く場を拡げていこう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共に働く場の確保</li> <li>・ 障害のある人の一般企業への就職や職場での定着を支援するために、関係者が協力していきます。</li> <li>・ 福祉事業所で障害のある人が意欲的に働けるように、支援などの工夫をしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人が一般企業で働く機会を増やしていくために、働く形態なども考えながら、関係者が協力していく。</li> <li>・ 障害のある人が一般企業に就職しやすくするために、通勤支援の具体化を目指す。</li> <li>・ 各事業所で仕事の内容や支援のあり方なども含め、障害のある人が働きやすい環境づくりに取り組み、情報の共有をする。</li> </ul>

	重点目標(中・長期的な達成目標)	30年度の取り組み
5	<p>&lt; 障害のある子の育ちの支援と、共に育つ環境づくりをしていこう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある子の育ちと家族支援</li> <li>・ 障害のある子と障害のない子が共に育つ環境の充実を目指します。</li> <li>・ 障害のある子の育ちの支援と、家族の子育ての支援を充実させていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学童保育で障害のある子と障害のない子がたがいに理解し合いながら育ていけるように、関係者が協力していく。</li> <li>・ 障害のある子と家族が地域で安心して暮らしていけるように相談体制を整え、保育所や幼稚園などにつなげたり、家族のつどいにつなげたりする。</li> <li>・ 医療的ケアを必要とする子を含め、どの子も地域の保育所・幼稚園・学校などで育ていけるように必要な支援の充実努める。</li> </ul>
6	<p>&lt; 高齢になっても安心して暮らせるようにしていこう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人と家族の高齢化への対応</li> <li>・ 障害のある人の高齢化に伴って生じる、さまざまなニーズに対応した支援を整えていきます。</li> <li>・ 関係する分野の人が連携して、本人の望む暮らしができるようにしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人の高齢化に伴って求められる支援体制を整える。</li> <li>・ 高齢の障害のある人の暮らしやすい街づくりを進める。</li> <li>・ 法律の変わり目で障害のある人や家族が困ることのないように、関係者の連携を深める。</li> </ul>
7	<p>&lt; 災害時に、障害のある人や家族をしっかり支えよう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の障害のある人への支援</li> <li>・ 日常生活を通して理解を深め合う努力をしていきます。</li> <li>・ 災害発生時に避難所などで障害のある人が安心して過ごせるように、日頃から必要な支援の準備をしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人も参加する防災訓練の実施を呼びかけていく。</li> <li>・ 町内会や公民館などに、災害時の対応マニュアルを配布する。</li> </ul>
8	<p>&lt; どこにいても安心して暮らせるようにしていこう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山ろくに住む障害のある人と家族への支援</li> <li>・ 白山ろくに住む障害のある人や家族の人たちが安心して暮らしていけるように、支援体制などを整えていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白山ろくで暮らす障害のある人や家族がどのような困り感やニーズをもっているかについて、直接聞く機会を早急に設ける。</li> <li>・ 当事者の声を聞いたうえで、実行できることから取り組む。</li> </ul>
9	<p>&lt; たがいに尊重し合う、共生の街づくりを目指そう &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共生の街づくりへの取り組み</li> <li>・ さまざまな機会を通して、「障害のある人と障害のない人が共に生きる街・白山市」の実現に向けて、一人ひとりが協力していくことの大切さを伝えていきます。</li> <li>・ 権利擁護の大切さなどについて、市民のみなさんと共に学ぶ機会を用意していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の特性や障害のある人のニーズなどについて、市民のみなさんが理解を深めることのできる機会を設ける。</li> <li>・ 障害のある人も障害のない人も一人の個人として尊重される街づくりの大切さを、市民のみなさんと共に学ぶ機会を設ける。</li> <li>・ 関係する法律などについて市民のみなさんと共に学ぶ機会を設ける。</li> </ul>

目標と平成30年度の取り組みについての説明

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じような経験や困難、ニーズなどを有する人たちが互いを理解し、助け合いながら、それぞれの課題の解決を目指していく仲間どうしのつながりは、ノーマネットはくさんの活動のベースとなるものです。</li> <li>・ 知的障害のある人も含め、さまざまな障害のある人たちが顔を合わせて語り合う機会を設けます。</li> <li>・ 当事者部会や家族のつどいなどを中心に、一人で困りごとを抱えている障害のある人や家族が会に参加していけるように働きかけをしていきます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜間や休日も含め24時間体制の、必要な時にいつでも安心して相談できるような、基幹相談センターを中心に、従来の相談体制のさらなる充実に努めます。</li> <li>・ 対象となる法律やサービスが、18歳や40歳、65歳などの年齢で大きく変化し、障害のある人や家族の生活にさまざまな課題が生じています。関係者の連携を深め、年齢等により途切れることのない質の高い相談体制の整備に努めます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人が望む場所で自分らしい暮らしができるように、必要な支援体制を整えます。退院・退所時の支援、退院後・退所後の地域生活支援の充実に努めます。</li> <li>・ 賃貸住宅やグループホームなどで障害のある人が主体性をもって、安心して暮らしていけるように、支援の充実に向けた検討や研修を行います。</li> <li>・ 賃貸住宅を障害のある人も利用しやすくするために関係する業界の人たちとの協力関係を深めていきます。</li> <li>・ 障害のある人をはじめとして関係者が白山市内のさまざまな所に出向き、そこが障害のある人にとって利用しやすいものとなっているか調べ、必要に応じて提言していきます。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会変化や法改正により、障害のある人の働く場は急速に拡大しています。その一方で、就労の継続に関わる課題などが浮き彫りになっています。障害のある人や関係者が力を合わせて、障害のある人が一般企業で働ける条件づくりを目指します。</li> <li>・ 長年にわたり障害のある人の通勤の問題が取り上げられながら、未だに具体的な解決策が出されていません。障害のある人が一般企業で働くことを支える重要な課題として、通勤支援の具体化を目指します。</li> <li>・ 障害のある人が「一般企業での就労」や「各種の就労継続支援事業所での就労」など多様な働き方の中で、満足して働けるように、環境づくりに努めます。</li> </ul>

目標と平成30年度の取り組みについての説明

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある子どもが一人の子どもとして、他の子どもたちと共に地域で当たり前の暮らしを続けることができるように、支援体制の充実に努めるとともに地域の人たちや関係者の理解啓発に努めます。</li> <li>・ 障害のある子のいる家族が過重な負担を抱えることなく、安心して暮らしていくことのできるような地域社会を目指し、支援のあり方についても検討を進めていきます。</li> <li>・ 白山市においても医療的ケアを必要とする子が増えています。医療的ケアを必要とする子が地域の子どもの生き延びるために、必要な支援の充実に努めます。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化が進むわが国では、障害のある人の長寿・高齢化が顕著となっています。障害のある人の高齢化に伴い、日常生活などでさまざまな課題が生じています。障害のある人の家族の高齢化も大きな問題です。必要な支援の充実などを通じて、高齢の障害のある人が安心して暮らしていける街づくりを目指します。</li> <li>・ サービスや制度のはざまに障害のある人が不都合なく、安心してその人の望む暮らしを続けていけるように、高齢者福祉の分野の人たちとも協力していきます。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各町内会などで行われる防災訓練に、さまざまな障害のある人も参加することで、防災時の支援などについて、市民のみなさんの理解が深められます。そうした機会を作っていくように努めます。</li> <li>・ 平常時から障害のある人の生活について知り、障害のある人の暮らしやすい環境を整備することが、すべての人たちの防災につながります。</li> <li>・ 施設等の改善だけでなく、日常生活レベルにおいて、障害の特性・障害のある人のニーズなどの理解や障害のある人たちとのコミュニケーション方法の学習などができるような機会を作っています。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白山市は白山ろくから日本海岸までを含む、広い面積を持っています。その中で、白山ろくに住む障害のある人や家族は、サービスが利用しづらいなど、他の地域の人たちと比べて不慣れた暮らしを余儀なくされています。</li> <li>・ 白山ろくに住む障害のある人や家族がより安心して暮らしていけるようにするために、そこで生活する人たちの声を直に聴きます。そこで明らかになった課題を解決するために何をすればよいか、みんなで考えていきます。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この10年余りの間に重要な条約や法律、条例などが次々と作られましたが、それらが障害のある人や家族、市民に十分に理解されていない実情があります。さまざまな機会を通じて、関係する法律などについての理解を深めてもらうように努めます。</li> <li>・ 障害の有無にかかわらず、どの人も一人の個人として誇りをもち、安心して暮らしていけるような白山市にしていくためには、障害のある人や関係者だけの努力では足りません。広く市民のみなさんに「共生の街・白山市」をつくっていくことの大切さを理解してもらうことが不可欠です。互いに語り合い理解し合う機会を設けるように努めます。</li> </ul>